

核データ { 情報 } 専門部会
評価

重元素評価W. G. 第1回会合議事録

日時 昭和44年12月12日(金) 11:00~17:30

場所 原研本部第3会議室

出席者(五十音順) 浅見(明), 五十嵐, 川合(水田代理)(NAIG),
端慶(山本代理)(日立), 中嶋(法政大), 中村(富士),
宝珠山(岩城代理)(MAPI), 松延(住友)

配布資料 1. P_{U}^{239} , P_{U}^{240} , P_{U}^{241} 収集データ

回覧資料 1. U^{235} 収集データ

議 事

1. HE-1 memo の解釈ならびに確認

i) 協力者はその担当する核種を特別に定めないうで、随時各分担者の依頼に基づいて適宜協力する。各分担者は責任をもつて、その分担を期日までに遂行する。

ii) 作業日程に関しては、3月を目標に smooth part を中心にまとめあげ、Resonance part は来期にまわす。

2. 作業経過報告

i) 標準断面積に関するメモ(中嶋氏)

現在一応適当と思われる ${}^1\text{H}(n, n)$, ${}^6\text{Li}(n, \alpha)$, ${}^{10}\text{B}(n, \alpha)$,
 ${}^3\text{He}(n, p)$ の断面積に関する、参考文献、コメントがそのデータ(グラフ, 表)とともに記されている。

ii) U^{235} , P_{U}^{239} , P_{U}^{241} は、実験値を主体に収集、一部データの多いものについては、平均した上プロットを遂行

iii) P_{U}^{240} は、評価データを主体に収集、プロットを遂行

3. 今後の作業計画

i) 3月まで smooth part の収集に全力を注ぐ、3月中頃に会合をもつ。

ii) 実験データを重点的に収集し、その情報は核データ文献収録用の data

sheet に記入する。

- 記入項目
- ① 出典（題目，著者，雑誌名，研究所）
 - ② 実験方法（測定装置，試料，分解能，規格化（標準断面積，エネルギー等））
 - ③ 実験結果（グラフ，表など書式は任意，コピーも可）
 - ④ 解析の有無（理論，コード）
- 他の実験との比較（discrepancy に対する著者のコメント）

実験誤差の取り扱い

iii) データ収集の範囲，方法

- ① $\sigma_t, \sigma_f, \sigma_c, \nu, \eta, \alpha (= \sigma_c / \sigma_f), \sigma_f^x / \sigma_f^{25} (x=28, 49, 40, 41), \sigma_c^y / \sigma_f^{25} (y=28, 40)$
- ② エネルギー； $1 \text{ keV} < E < 20 \text{ MeV}$ （但 ν は熱領域まで）
- ③ グラフのみで与えられているものは，その旨を明らかにし，読み取つたものも他の実験値と重ねあわせて，グラフに図示する。その場合，その数値も参考として提出する。（評価の段階でこのデータを利用するか否かは，その評価担当者の判断にまかす）
- ④ 実験データが，平均操作を施されたものも採用する。但し，平均操作が著者によるものか，各分担者によるものか，その旨明らかにする。一方，その平均操作は，エネルギー平均を採用する。

iv) 数値の格納方法については今後の検討とする。

以 上